

統合分野

科目名			担当教員名	
在宅看護方法論 I			堀 由美子(実務経験者)	
対象学年	開講時期	単位数	時間数	講義回数
2	前期	1	30	15
【概要 一般目標】GIO 在宅看護に必要な理論に基づく日常生活援助や医療処置等の看護の方法を習得する				
【学習目標】 1 在宅看護の特性に基づく看護の主要概念について概説できる。 【行動目標】 2 在宅看護における日常生活援助の考え方とポイントについて概説できる。 SBO 3 在宅における医療処置管理の支援と看護のポイントについて概説できる。 4 在宅における緊急時の対応のポイントについて概説できる。 5 在宅看護における感染予防とリスク管理について概説できる。 6 在宅における対象別看護のポイントについて概説できる。				
回数	時間	SBO番号	講義内容	教授方法・備考
1	2	1	在宅看護と人間・健康・環境と家族看護の視点 家庭訪問の実際	講義
2	4	1	在宅における生活援助①	講義
3	6	1	在宅における生活援助②	グループワーク
4	8	2	在宅における生活援助③	グループワーク
5	10	2	在宅における生活援助④	グループワーク
6	12	2	在宅における生活援助⑤	グループワーク
7	14	3	在宅における医療処置管理の支援と看護①	講義
8	16	3	在宅における医療処置管理の支援と看護②	講義
9	18	3	在宅における医療処置管理の支援と看護③	講義
10	20	3	在宅における医療処置管理の支援と看護④	グループワーク
11	22	4・6	在宅における医療処置管理の支援と看護⑤	グループワーク
12	24	5	在宅における緊急対応、感染予防とリスク管理	講義
13	26	5	在宅における対象別看護①	講義
14	28	5	在宅における対象別看護②	講義
15	30		まとめと終講試験	試験
【使用テキスト】 〈書名〉 〈著者名〉 〈発行所〉 〈発行年・価格・他〉				
教科書 プリンシプル在宅看護学 原礼子 医歯薬出版 2015 (必ず購入) 写真でわかる訪問看護アドバンス 押川真喜子 インターメディカ 2016				
参考書				
その他資料 適宜配布する				
【評価方法】 筆記試験			【履修上の留意点】	

統合分野

科目名			担当教員名	
在宅看護方法論Ⅱ(1-15回)			堀 由美子(実務経験者)	
対象学年	開講時期	単位数	時間数	講義回数
2	後期	2	45	23
【概要 一般目標】GIO 在宅看護過程を理解し、事例の看護展開ができる。				
【学習目標】 1 在宅看護の看護過程の特徴について概説できる。 【行動目標】 2 在宅看護の看護過程についてプロセスを概説できる。 SBO 3 事例を用いて、看護過程を展開できる。				
回数	時間	SBO番号	講義内容	教授方法・備考
1	2	1・2	在宅看護過程の構成要素とプロセス	講義
2	4	1・2	在宅看護過程の構成要素とプロセス	講義
3	6	1・2	在宅看護過程の構成要素とプロセス	講義
4	8	1・2	在宅看護過程の構成要素とプロセス	講義
5	10	3	事例展開	個人ワーク
6	12	3	事例展開	個人ワーク
7	14	3	事例展開	個人ワーク
8	16	3	事例展開	個人ワーク
9	18	3	事例展開	グループワーク
10	20	3	事例展開	グループワーク
11	22	3	事例展開	グループワーク
12	24	3	事例展開	グループワーク
13	26	3	事例展開	グループワーク
14	28	3	事例展開	グループワーク
15	30	3	事例展開	グループワーク
【使用テキスト】 <書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格・他>				
教科書 プリンシプル在宅看護学 原礼子 医歯薬出版 2015 (必ず購入) 写真でわかる訪問看護アドバンス 押川真喜子 インターメディカ 2016				
参考書				
その他資料 適宜配布する				
【評価方法】 筆記試験			【履修上の留意点】 PBL形式のグループワークを実施するため、自発的、積極的な学習態度が必要である。	

統合分野

科目名			担当教員名	
在宅看護方法論Ⅱ(16-23回)			堀 由美子(実務経験者)	
対象学年	開講時期	単位数	時間数	講義回数
2	後期	2	45	23
【概要 一般目標】GIO 在宅看護過程を理解し、事例の看護展開ができる。				
【学習目標】 1 在宅看護の看護過程の特徴について概説できる。 【行動目標】 2 在宅看護の看護過程についてプロセスを概説できる。 SBO 3 事例を用いて、看護過程を展開できる。				
回数	時間	SBO番号	講義内容	教授方法・備考
16	2	3	事例展開	グループワーク
17	4	3	事例展開	グループワーク
18	6	3	事例展開	グループワーク
19	8	3	事例展開	グループワーク
20	10	3	事例展開	グループワーク
21	12	3	事例展開まとめ	グループワーク
22	14	3	事例展開発表	グループワーク
23	15		終講試験	試験
【使用テキスト】 〈書名〉 〈著者名〉 〈発行所〉 〈発行年・価格・他〉				
教科書 プリンシプル在宅看護学 原礼子 医歯薬出版 2015 (必ず購入) 写真でわかる訪問看護アドバンス 押川真喜子 インターメディカ 2016				
参考書				
その他資料 適宜配布する				
【評価方法】 筆記試験			【履修上の留意点】 PBL形式のグループワークを実施するため、自発的、積極的な学習態度が必要である。	

統合分野

科目名			担当教員名	
看護の統合と実践 I (医療安全)			丸山 京子(実務経験者)	
対象学年	開講時期	単位数	時間数	講義回数
3	前期	1	30	15
【概要 一般目標】GIO 看護事故を未然に防ぎ、質の高い医療を提供するための知識を習得する。				
【学習目標】 1 医療安全を学習する意義が説明できる。 【行動目標】 2 診療の補助業務に伴う事故のおもな種類と特徴、防止方法について説明できる。 SBO 3 療養上の世話に伴う事故の主な種類と特徴、防止方法について説明できる。 4 業務領域をこえて共通する間違いや発生リスクについて説明できる。 5 医療安全のためのコミュニケーションの方法について説明できる。 6 安全で質の高い医療を提供するための対策について概説できる。				
回数	時間	SBO番号	講義内容	教授方法・備考
1	2	1・4・5	医療安全を学ぶことの大切さ	講義・PBL
2	4	1・4・5	医療安全を学ぶことの大切さ	PBL
3	6	1・4・5	医療安全を学ぶことの大切さ	PBL
4	8	1・4・5	医療安全を学ぶことの大切さ	PBL
5	10	1・4・5	医療安全を学ぶことの大切さ	PBL
6	12	1	看護学生の実習と安全	講義
7	14	2	診療の補助業務における事故防止	講義
8	16	3	療養上の世話における事故防止	講義
9	18	4	業務領域をこえて共通する間違いと発生要因	講義
10	20	5・6	危険予知訓練(KYT)	演習
11	22	5・6	危険予知訓練(KYT)	演習
12	24	5	医療事故防止のためのコミュニケーションとは	講義
13	26	5	医療事故防止のためのコミュニケーションとは	講義
14	28	6	組織的安全管理の取り組み	講義
15	30		まとめと終講試験	試験
【使用テキスト】 <書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格・他> 教科書 新体系看護学全書 看護の統合と実践① 看護実践マネジメント 医療安全 (2版) 佐藤エキ子 (必ず購入) メヂカルフレンド社 2012				
参考書				
その他資料 適宜配布する				
【評価方法】 筆記試験			【履修上の留意点】	

統合分野

科目名			担当教員名	
看護の統合と実践Ⅱ(臨床看護の実践)			丸山 京子(実務経験者)	
対象学年	開講時期	単位数	時間数	講義回数
3	後期	1	15	8
【概要 一般目標】GIO 臨床現場では複数の患者を受けもちケアを行う。ケアの質を保証し、安全に看護するためには、適切な業務の計画調整と、連携、協働が求められる。本科目では、事例を詳細に設定し、調整、連携、協働について理解				
【学習目標】 1 臨床現場での複数受け持ちの状況を想像できる。 【行動目標】 2 複数受け持ちの看護業務を事例を通して疑似体験する。 SBO 3 臨床現場の日勤帯と夜勤帯の勤務状況を想像できる。 4 臨床現場の日勤帯と夜勤帯の業務の特徴について説明できる。				
回数	時間	SBO番号	講義内容	教授方法・備考
1	2	1	複数受け持ちをするということと看護職の協働の実際。 複数受け持ちをするということと、他職種との連携の実際。	講義
2	4	1・2	複数の詳細な事例に基づき、看護業務の調整を疑似体験する。	PBL
3	6	1・2	複数の詳細な事例に基づき、看護業務の調整を疑似体験する。	PBL
4	8	1・2	複数の詳細な事例に基づき、看護業務の調整を疑似体験する。	PBL
5	10	1・2	複数の詳細な事例に基づき、安全な看護業務について考える。	PBL
6	12	1・2	複数の詳細な事例に基づき、安全な看護業務について考える。	PBL
7	14	3・4	複数の詳細な事例に基づき、日勤帯と夜勤帯の看護業務の特徴や業務内容について考える。	PBL
8	15		まとめ・発表	
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
【使用テキスト】 〈書名〉 〈著者名〉 〈発行所〉 〈発行年・価格・他〉				
教科書 新体系看護学全書 看護の統合と実践① 看護実践マネジメント 医療安全 (2版) 佐藤エキ子 (必ず購入) メヂカルフレンド社 2012				
参考書				
その他資料				
【評価方法】 レポート・授業貢献度			【履修上の留意点】	

統合分野

科目名			担当教員名	
看護の統合と実践Ⅲ(看護管理・国際看護・災害看護)			小林 伸子(実務経験者) 中静 恵子(実務経験者)	
対象学年	開講時期	単位数	時間数	講義回数
3	前期	1	30	15
【概要 一般目標】GIO 連携・協働・資源活用をケアのマネジメント、看護のマネジメントの視点から理解する。また、災害時の看護、国際看護について概念と方法を理解する。				
【学習目標】 1 看護管理の定義を説明できる。 【行動目標】 2 看護職として行うケアのマネジメントについて説明できる。 SBO 3 看護サービスのマネジメントについて説明できる。 4 マネジメントに必要な知識と技術について説明できる、 5 災害時の看護の概念と方法について概説できる。 6 グローバルな視点での看護について概説できる。				
回数	時間	SBO番号	講義内容	教授方法・備考
1	2	1	看護管理とは 看護管理の歴史の変遷	講義(中静)
2	4	2	看護サービスのマネジメント	講義(中静)
3	6	2	看護サービスのマネジメント	講義(中静)
4	8	3	看護サービスのマネジメント	講義(中静)
5	10	3	看護ケアのマネジメント	講義(中静)
6	12	3	看護ケアのマネジメント	講義(中静)
7	14	4	マネジメントに必要な知識	講義(中静)
8	16	5	災害とは 災害医療と看護の基礎知識 災害看護のニーズ	講義(小林)
9	18	5	災害サイクル別看護	講義(小林)
10	20	5	被災者特性別看護	講義(小林)
11	22	5	こころのケア	講義(小林)
12	24	5	災害時に必要な看護技術	講義(小林)
13	26	6	看護とグローバル化	講義(小林)
14	28	6	国際協力	講義(小林)
15	30		まとめと終講試験	試験(小林・中静)
【使用テキスト】 <書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格・他>				
教科書 新体系看護学全書 看護の統合と実践① 看護実践マネジメント 医療安全 (2版) 佐藤エキ子 メヂカルフレンド社 2012 (必ず購入) 系統看護学講座 看護の統合と実践3 災害看護学・国際看護学 (3版) 日本赤十字社事業局看護部 医学書院 2015				
参考書				
その他資料				
【評価方法】 筆記試験			【履修上の留意点】	

統合分野

科目名			担当教員名	
看護の統合と実践Ⅳ(看護研究)			小林 伸子(実務経験者)	
対象学年	開講時期	単位数	時間数	講義回数
2	後	1	15	8
【概要 一般目標】GIO 看護研究の意義とプロセスを理解する。				
【学習目標】 1 看護研究の意義を説明できる。 【行動目標】 2 文献の検索とクリティークを体験する。 SBO 3 研究のすすめ方を概説できる。 4 さまざまな研究デザインについて概説できる。 5 研究計画立案を体験する。 6 ケーススタディーの方法を概説できる。				
回数	時間	SBO番号	講義内容	教授方法・備考
1	2	1	看護研究の意義 実践からの看護研究のつながり	講義
2	4	2・3	研究のすすめ方 テーマの検討と決定・文献調査・仮説設定・変数	講義
3	6	3・4	研究のすすめ方 研究デザイン 質的研究・量的研究	講義
4	8	3	研究のすすめ方 データの種類と収集方法 データの集計・分析・解釈	講義
5	10	3	看護研究における倫理と課題 文献クリティークの体験 研究計画立案の体験	講義
6	12	6	事例研究の具体的方法	講義
7	14	6	事例研究の具体的方法	講義
8	15		終講試験	試験
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
【使用テキスト】 〈書名〉 〈著者名〉 〈発行所〉 〈発行年・価格・他〉				
教科書 JJNスペシャル 看護研究の進め方 論文の書き方 (2版) 早川和生 医学書院 2012 (必ず購入)				
参考書				
その他資料 適宜配布				
【評価方法】 筆記試験			【履修上の留意点】	

統合分野

科目名			担当教員名	
在宅看護論実習			堀 由美子(実務経験者)	
対象学年	開講時期	単位数	時間数	講義回数
3	前期・後期	2	90	
【概要 一般目標】GIO 実習要項による				
【学習目標】 実習要項による 【行動目標】 SBO				
回数	時間	SBO番号	講義内容	教授方法・備考
1			内容は実習要項による	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
【使用テキスト】 〈書名〉 〈著者名〉 〈発行所〉 〈発行年・価格・他〉				
教科書 (必ず購入)				
参考書				
その他資料				
【評価方法】			【履修上の留意点】 実習前には十分な事前学習を必要とする。	

統合分野

科目名			担当教員名	
看護の統合と実践の臨地実習			武田 みつい(実務経験者) 浅田 千加子(実務経験者) ブロード 裕子(実務経験者) 丸山 京子(実務経験者) 阿部 真由美(実務経験者) 堀 由美子(実務経験者) 金山 聡子(実務経験者) 小林 伸子(実務経験者)	
3	後	2	90	
【概要 一般目標】GIO 実習要項による				
【学習目標】 実習要項による 【行動目標】 SBO				
回数	時間	SBO番号	講義内容	教授方法・備考
1			実習要項による	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
【使用テキスト】 〈書名〉 〈著者名〉 〈発行所〉 〈発行年・価格・他〉				
教科書 (必ず購入)				
参考書				
その他資料				
【評価方法】			【履修上の留意点】	
			実習前には十分な事前学習を必要とする。	